

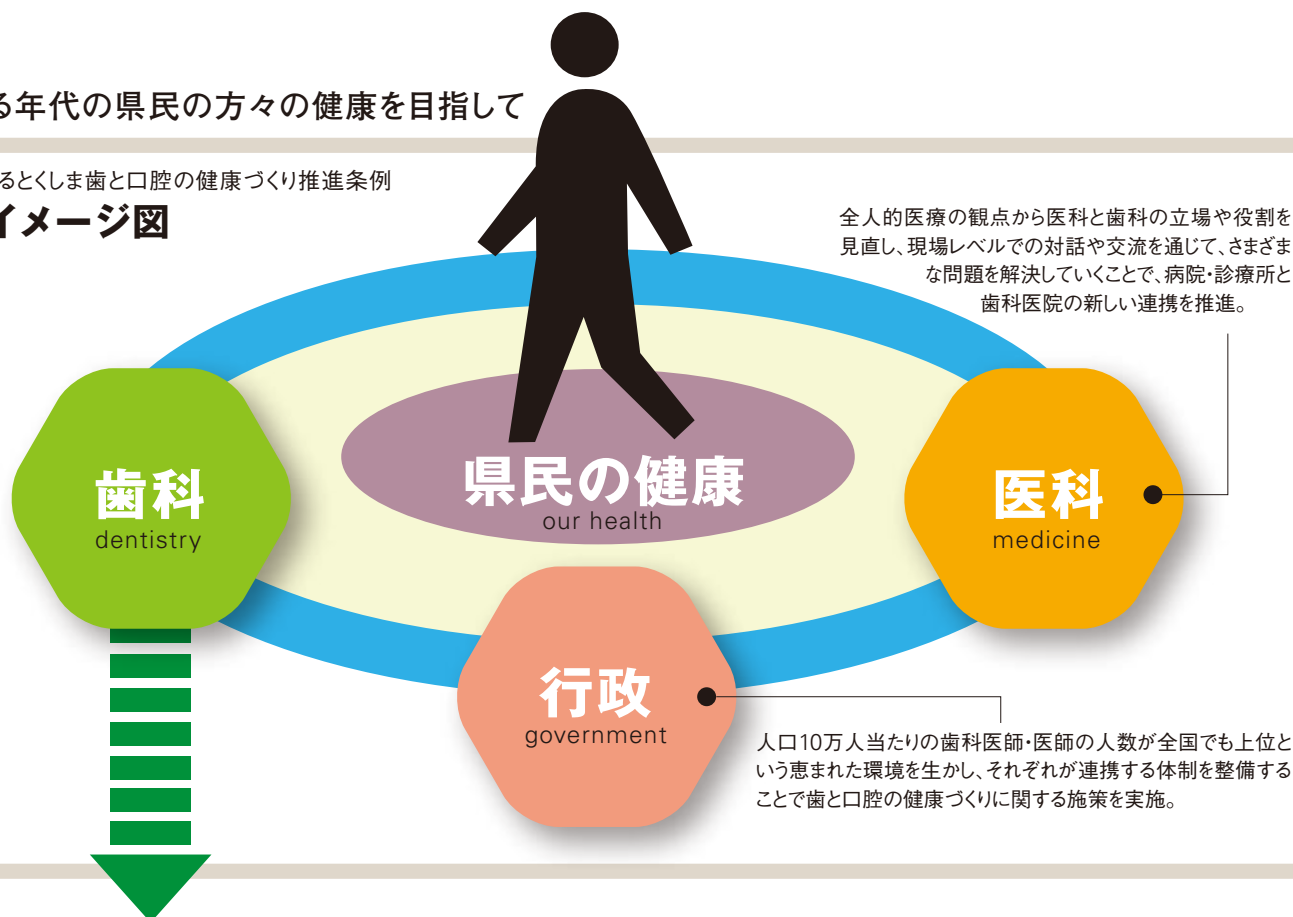
歯と口腔の健康づくり推進条例の制定で、 徳島県の歯科保健医療は新しい局面を迎えます。

歯と口腔の健康づくりは全身の健康の保持と増進の第一歩。糖尿病をはじめとする生活習慣病の予防や暮らしの質の向上には欠かせない大切な要素です。私たちが暮らす徳島県では、全国平均と比べてむし歯のある3歳児の割合が高く、12歳児の時点では一人平均のむし歯の本数が多いという結果が出ています。また、成人

では中等度以上の歯周病患者の割合も高く、歯と口腔の健康と関係がある糖尿病の患者数と死亡率も全国上位のままです。こうした背景をもとに「笑顔が踊るとくしま 歯と口腔の健康づくり推進条例」は制定されました。行政と歯科と医科の三者が手を携え、あらゆるライフ・ステージに応じた歯と口腔の健康づくりを推進します。

あらゆる年代の県民の方々の健康を目指して

笑顔が踊るとくしま歯と口腔の健康づくり推進条例
連携イメージ図



一人ひとりの生涯を支えるサポートを展開



妊娠期・乳幼児期の
皆さんへ

妊娠中は体調の変化から歯周病やむし歯がひどくなることもあり、お母さんの歯周病と早産の関連も多く研究されています。乳歯や永久歯は妊娠中からでははじめているため、お母さんの食習慣や口腔のヘルスケアは、お腹の赤ちゃんにも大きな影響があります。また、出産後の赤ちゃんの口腔ケアに関してもお母さんが気を配ってあげてください。



学齢期から
成人の皆さんへ

学齢期は健全な永久歯をつくるために重要な時期です。規則正しい食生活や歯を清潔に保つ習慣を身につけましょう。また、糖尿病の「6番目の合併症」といわれている歯周病の、早期発見・早期治療で血糖値の改善へつなぐとされています。かかりつけ歯科医師を持ち、定期的な健診を受けましょう。



高齢者の皆さんへ

加齢とともに抵抗力や免疫力が低下するため、高齢者の方々の歯と口腔のヘルスケアも重要な問題です。たとえば、病気で歯を磨くことができなくなったり、歯科医院へ通院が難しいケースも出てくるはず。訪問歯科診療などにおける適切なプロフェッショナルケアは、介護が必要な方の歯周病の治療や誤嚥性肺炎を予防し、健康増進を手助けします。

「笑顔が踊るとくしま 歯と口腔の健康づくり推進条例」周知キャンペーン

徳島県・徳島県歯科医師会